

回覧

発行:余市協会病院

発行日:令和5年3月1日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126

はつらつ PLUS

和式トイレが洋式トイレに変わりました



かねてからご要望の多かった洋式トイレですが和式トイレから改修する工事をおこないました。より快適にお使いいただけるようシャワー洗浄機も完備しております。

しょう！
感染予防を心がけま



1 手を濡らした後、石鹸で手のひらをこすります



2 手の甲を伸ばすようにこすります



3 指先、爪の間を手のひらでこすります



4 指の間を洗います



5 親指をねじって洗います



6 手首もしっかり洗います

手洗い手順できていますか？

研修医リレーコラム 127

母校センメルweis大学について

2月の4週間、研修でお世話になりました研修医2年目の青山真利子と申します。非常に充実した日々を過ごすことができ、改めて病院のスタッフ全員に感謝申し上げます。今回は自分の学生時代に関係あるお話をさせていただきます。

私は高校時代も海外で生活していた影響で日本の大学には進学せず、ハンガリーの首都ブダペストにあるセンメルweis大学で医学教育を受けました。私自身ハンガリーは入学するまで行ったこともない国でしたが、多国籍の学生と共に英語で医学を勉強できる環境に興味がありました。場所は中央ヨーロッパに位置しており、日本からは飛行機で乗り換えを含めて16時間ほどかかります。卒業後に日本の学生と同様に日本の医師国家試験を受験します。

ちなみにセンメルweis大学はハンガリーの産婦人科医師、イグナツ・センメルweisから名付けられています。

19世紀中は産褥熱の発生数が多く死亡率も高かったのですが、彼が働いていた病院の第一病棟では死亡率が13%、第二病棟では2%と明らかな差がありました。原因を調べ始めたら、第一病棟では医学生の指導をしており、そこでは死体解剖を素手で行ったまま、手洗いを行わずに医師や学生が妊婦の診察を行っていたことが判明しました。当時はまだ細菌、病原菌は発見されておらず、センメルweisは「死体粒子」が原因と考えました。その後手指消毒及び医療機器の消毒を義務付けたところ死亡率は13%から1%以下まで低下しました。しかし、当時の医学界は彼の研究結果を受け入れず強い批判を受けてしまいます。彼は精神的に病んでしまい精神科病院に入院、そこで職員に暴行を受け1865年、47歳で死去しました。



彼の死後数年に細菌論、消毒法が確立しセンメルweisの功績は認められるようになり、今では「消毒の父」とも呼ばれています。

そのような歴史もありますが、ブダペストはフォアグラやトカイワインなどを気軽に楽しみ、「ドナウの真珠」と言われる美しい街です。皆様も是非ヨーロッパに行く機会があればブダペストを訪ねてみてはいかがでしょうか。

研修医 青山 真利子

参考文献：<https://www.bdj.co.jp/safety/articles/ignazzo/1f3pro00000sihs4.html>



救急件数

(12月)

(1月)

外来受診 125件 うち入院 25件
救急車来院 84件 うち入院 36件
外来受診 134件 うち入院 31件
救急車来院 73件 うち入院 31件